

# しのはらの風 20-3号

小淵沢町篠原区情報紙  
発行人; 区長 松井 皎  
編集; 藤代 富美男

## <困った問題>

篠原区への加入の動機が「ゴミの処理」であることはチョット残念ですが、それなりの理解をしています。ゴミ処理は行政の責任といってもそれぞれの家庭から出るゴミ処理は、区が管理しているステーションしかないのです。行政はステーションにあるゴミを回収するだけ。区の環境部は 2 年前から新しいルールを定めています。

- 資源ゴミは、指定日以外出さない
- 区民以外、ステーションは利用できない

このルールをみんなで守るのか、否定するのか。清掃活動に参加したら利用できる。市の説明でも区民以外でも利用できるといっていた。等々意見についても承知しています。その上で敢えて問題を提起したいと思います。篠原で生活する以上は篠原のルールを守って欲しいと・・・。

(区長 松井 皎)

## <区民の仲間を増やそう>

ハヶ岳が好きで、小淵沢が好きでさらに篠原が好きでこの地に住んでいて、美しい自然を享受して毎日が楽しい。そんないいことばかりの生活ではありませんが、この地に居るということは恵まれていると思うことが多いのではないのでしょうか。住んでしまっていると何も感じなくなるのが普通かもしれませんがここは良い所です。先日区長より区民の皆様に「区民新規加入キャンペーン」のお知らせとお願いが配布されました。各組長さんを中心に未加入世帯への加入促進が行われておりますが皆様からご近所に声をかけてみてください。区の行事への参加もさることながらやはり地域に居たら地域の最低限の務めは果たさなければ地方の町の自治も景観も維持することは出来ません。アカミチの補修や防犯街路灯の設置と維持等も区費でまかなわれています。みんなで住みよい篠原を作るために加入を促進してみてください。お願いします。

## <新規加入区民を紹介します>

4 月以降今年度になって新たに加入された区民の皆さんを紹介します。

組	お名前	区別	組	お名前	区別	組	お名前	区別
1 組	小川 貞男	一般	5 組	川嶋 史郎	一般	2 組	佐藤 長逸	別荘
1 組	加藤 宏	一般	2 組	内藤 久雄	別荘	4 組	望月 義親	別荘
2 組	田村 一豊	一般	2 組	田中 幸二	別荘	5 組	加藤 成彦	別荘
3 組	関 定雄	一般	2 組	椎名 秀夫	別荘			

以上 11 名の皆さんが今年度新たに加入されました。皆さんよろしくお願いします。

## <チョッ、チョッ、チョッと待ってその資源ゴミ！！>

今、資源ゴミを出そうとしてるあなた、今日は資源ゴミを出す日ではありません。資源ゴミの回収日は現在毎月第3土曜日と決められています。2年前に「決められた日の午前9時から11時までに出そう」となりましたが残念ながら守られていません。そして6月にはとうとう溢れてドアが壊れてしまいました。そこで区では7月のゴミステーション清掃の日から資源ゴミの回収ボックスを廃止することにしました。これからは決められた通り当日の9時から11時の間に公民館の駐車場に持ってきてください。各組が月ごとに担当して受付と清掃をします。「ゴミは捨ててしまえばあとは野となれ山となれ、知るもんか。」では哀しいですね。是非皆さんのご協力をお願いします。繰り返します。資源ゴミの回収は

**【毎月第3土曜日の9時から11時までです】**

よろしくをお願いします。

## <公民館のトイレを改修しました>

使い勝手が悪いと不評のトイレについて先日改修工事をしました。女子用のトイレの仕切りを大幅に変更して車椅子が入れるようになりました。壁には手摺りを付けて立ち座りが楽にできるようになりました。是非ご利用ください。男女融通しあってお使いください。公民館内の段差については建物をバリアフリーにするより人の心をバリアフリーにして頂きたいと思います。体の不自由な人や車椅子の人がみえたらみんなで手をかして助けましょう。また、男子小便器には水洗機能がついていません。そのままですと汚れがついて不衛生ですし臭います。手洗い場にコップを用意しますので使い終わった後に水で流してください。御協力をお願いします。そして電気代の節約のために使用していない時は便座の電源を抜いてありますので会合の始めに電源を入れてください。うっかりすると冷たくて飛び上がりますよ。

## <地域のネットワークについて>

8月31日(日)に防災訓練が行われます。本年度は従来どおりの訓練を行う予定ですが来年には各区で持ち回りの本格訓練が予定されています。詳細については来年に向けて詰めていきますが、先日その準備として地域環境委員会の会議が開かれました。そこで関連して気になったことが近所のネットワークです。先日NHKでも放送されましたが「隣人祭」ということが話題になっています。都会では隣同士がまったく知りあうこともなく生活していて提唱者は近所の人孤独死を発見して「隣人祭」を始めたといっていました。この地域ではそんな淋しいことは無いと思いますが実はそうでもないのです。2年ほど前に区民ではありませんが60代の独居男性が孤独死で発見されています。案外近くの人がどのような手助けを必要としているのか、家族構成がどうなのかを知らないということはあると思います。行政ではそのようなことはある程度把握してい

るようですが、各組織ごとにばらばらだということです。勿論第三者にそのような情報が出ることはありません。しかし市でも防災担当が統括してそれらの情報を一括し、本人からの希望があれば各区に依頼し何かの時の対応をお願いできるようにしたいということでした。しかしこれも時間のかかることでしょう。それよりは私たちが近所のことをお付き合いの中で情報として活かして、区として何が出来るかを考えてみたいと思っています。皆様のご意見とご協力をお願いします。

### <図書館へ行こう>

先日住民一人当たりの利用率全国一の富山県の村の図書館で日本カモシカが闊入したという報道がありました。「開館 10 周年の PR をしたがカモシカまで来てくれるとは…」と係りの人の話。図書館は私たちが税金を納めた中からキッチリと還元してくれる数少ない利用施設です。以前聞いたところでは篠原地区の図書館利用カードの登録人数は、図書館から離れていることもあって少ない方だと言う事でした。市内には 8 つの図書館があって、どこでも借りられるし、どこに返してもいいんです（DVD、CD 等一部除く）。また、他の図書館の本も取り寄せてもらうことが出来ます。インターネットを利用して予約も出来て便利でお得です。また、地域資料の収集にも努めていて、書店では見られないものも多くあります。一人で 3 週間（同上）、15 冊（同上）まで一度に借りられます。図書館利用カードの発行は保険証・運転免許証などの確認資料が必要ですが、半定住の人、別荘所有者も登録・利用できます。みんなで行ったら図書館の係りの人も喜んでくれるカモシカ。

### <長寿者クラブゲートボールチーム頑張る！！>

先日、小淵沢町長寿者クラブ連合会主催のゲートボール大会が開かれました。町内から 23 チームが参加し激戦が繰り広げられました。我が篠原チーム（高岡、寺田、北原、伊藤、松村の各氏）は卓越した頭脳プレーと手首と腰のスナップを利かせて見事に準優勝しました。ちなみに優勝は上笹尾の協心チームでした。これにより上位 2 チームの協心チームと篠原チームが 8 月に行われる次の北杜市長寿者クラブ連合会のゲートボール大会に出場が決まりました。ここでの活躍がまた期待されています。市の大会で準優勝以上になりますと県大会が待っています。さらにその上の全国大会へと気分はいやがうえにも盛り上がりますね～。選手の皆さん体調を維持して頑張ってくださいね。

篠原区では長寿者クラブと子供クラブが頑張っているようです。青年、壮年の活躍はいまひとつ聞こえてこないような気がします。みんな頑張りましょう。活躍の場は身近にいっぱいありそうですよ。防災訓練とか開拓祭、お祭りとか。

## <景観（環境）はみんなで作る財産です>

「こぶちさわ昔ばなし」から転載します。今回は和光さんの先代のお話です。開拓入植された先達たちは生活のもとになる水でご苦労されたようです。篠原神社にまつわることでもあります。今のおいしい水がふんだんに使える生活からは考えも及ばないことでした。  
(原文のままです)

### [篠原水神様]

篠原 和光 徳重

篠原開拓地へ入植したのは、昭和二十年九月、十月の二ヶ月に約七十名であった。入植はしたものの、水利不便で、女取川や平井出の貯水池から運んで来たものだ。雨の降る日は貯水槽にためて使用した。

開拓民が協議して水確保のために、麓の野原を探し歩いたり、八ヶ岳へも登って水脈を調べた。観音平の延命水はあったが引水は不可能である。この頃、神信心が異口同音に出た。そこで大滝神社の分霊を地区内に祀って篠原水神社と尊称して水利に恵まれる事を祈願した。

するとある日、野原中の湧水を探し歩いたところ、道に迷って古杣川近くへ出てしまった。すると、近所に炭焼小屋があるではないか、きっとこの近所に水があるのではないだろうかを探したところ、有った、有った。相当量の湧水である。これこそお水神様のお引き合わせだと、さっそく県へ報告して、係員の出張を願い、湧水量の調査をしたところ、「毎秒5cc」の水量が確認されたので引水工事をするようになった。

この湧水は小荒間の坂本杵子郎さんの所有地であるが女取川の源泉地となっていて小荒間には使用水利権が無い、日野春の上条下条の水利権であるので、日野春の壬生倉村長さんに陳情して、役職の方々に現地調査をしていただいたところ、この困窮の実情に同情され、ご理解下さって分水の承認をしていただいた。

昭和三十四年、簡易水道の計画をたて、県の許可があったので、此の時は一インチパイプを使用した水量が不足がちであった。

昭和三十八年、二インチパイプにして増水しようと、小淵沢町長の進藤武夫さんに御協力を願って、壬生倉町長さんと交渉され、引水量、使用個数、水用年度等の明細契約書に調印され、希望も実現し、用水も安心して使えることになった。

私らも移住入植早々であったので、進藤武夫さんの御協力と日野春の壬生倉さん、上条、下条地区の皆様様の御理解御同情の賜であることは銘記しなくてはならないと共に、これもまた篠原水神様の御霊験でもあって、大滝神社分霊奉祀について滝の前の方々にも一方ならぬ御協力と御同情で忘れてはならない。これら水利問題について、総ての方々の恩恵と篠原水神奉祀の由緒記録として、永遠に遺し伝えておくべきであると思う。

\*お願い； 公民館の会議室の時計が壊れてしまいました。ご自宅の大き目の時計で使われていないものがありましたら寄付をお願いできないでしょうか。お待ちしております。ご連絡お願いします。36-3483 藤代まで